

## 「チャレンジ！サマーキャンプ」を開催しました。

8月10日（土曜日）から11日（日曜日）にかけて、自主事業「チャレンジ！サマーキャンプ」を荒神山自然の家にて開催しました。

このキャンプは、彦根市と周辺四町（多賀町、豊郷町、甲良町、愛荘町）で形成する湖東定住自立圏事業の一環で圏内小学校4年生から6年生を対象に、荒神山自然の家で宿泊型の体験活動事業を実施することで、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むとともに、活動を通じて子どもたちの交流を図ることが目的です。

今回は「チャレンジしよう！」を大きなテーマ、趣旨とし、班での活動を中心に企画しました。

### <<1日目>>

#### はじまりのつどい

当日は総勢35人の子どもたちが、朝から元気一杯に集まりました。はじまりのつどい



では、所員・ボランティアスタッフ・参加者の自己紹介の後、今回のキャンプの趣旨説明がありました。初めて会う仲間たちにどの子どもも緊張と少しの不安を抱え、声もあまり出ませんでした。次に緊張をほぐすためにゲームを中心としたレク活動を行ったところ、次第に打ち解け合って、どのようにすればうまくいかなどが交流できるようになっていきました。次のメニューは班会議です。

班の目標や役割分担をリーダーを中心に考えました。班の目標は班ごとに記入し、各班から発表をして、全体で共有しました。

#### テント設営

昼食後、子どもたち自身の就寝場所となるテント設営を行いました。テント泊は、ほとんどの子が初めてという中、皆、協力しながらテントを組み立てました。前日までの気温の上昇にやきもきしながらも、テントサイトの木陰の涼しいところをもとめて設営完了。班付きスタッフが手際よく活動の手助けを行ってくれたおかげで計画よりも早くできたこと、これも事前研修の成果であると感じました。次に、竹コップ作りとキーホルダーの記念品づくりです。とてもよい宝物になりました。





## 野外炊事

夕食は野外炊事でカレーライスを作りました。まずはリーダー中心に役割分担をしました。野菜の切り分け、洗米、火おこし等、各々が責任をもって行いました。どの班も美味しそうに出来上がった自分たちのカレーに舌鼓を打っていました。どの班も残さずしっかり食べました。あわせて焼きそば、バーベキューとありあまる食事の量におなかいっぱいと、とても満足げでした。

片付けでは率先して動く子が増えてきて、どの班もスムーズにできました。また、同じ釜の飯を食べたことで、さらに班の絆も深まりました。

## キャンプファイヤー

1日のしめくくりは何ととってもキャンプファイヤー！各班で話し合ったスタンプは、どれも考えられており改めて子どもたちの創造力の豊かさ、発想力の深さに驚きました。クイズやゲーム、出し物と行った楽しい時間を共有しました。最後にファイヤーキーパーが燃えた炭で作ったチャコールアートの星を見つめ1日を締めくくりました。しかし、あまりにも盛り上がり計画通り始めたファイヤーが何と終わるころには約45分ほどずれてしまいましたが、ご愛敬と言うことでみんな慌ててお風呂に入り、班会議を終えテントに入りあとはすやすや睡眠タイムとなりました。



## <<2日目>>

2日目は、朝6時に起床し、まずラジオ体操をしてから食堂へ。朝食のメニューは定番の食堂標準食。ボリューム満点メニューです。朝からいっぱい食べて本日のメインの活動であるミステリーウォークに備えました。

朝食後、健康観察を終え全員の体調を確認後、まずテントの撤営活動を行いました。天



気がよく地面も乾いていたのですぐに撤収でき片付くと思っていましたが、意外や意外グランドシートが湿っており、小山に干す羽目に。従って少し作業が残ってしまいました。仕方がないので、すべての活動が終了の昼食後袋に片付け、テント庫へ搬入完了です。

## ミステリーウォーク

自然の家の活動の一つであるウォークラリーコースの一部とリバーボート活動を組み合わせたコースを活用し、ゴールまでに3枚の地図をポイントでゲットして班で協力をして設定時間でゴールするという過酷なレースです。

中には、途中でポストの番号を探したり、暗号文が示されておりそれを解きながら進むというハードルも課せられ、一筋縄ではできない活動に全員ヒーヒーいいながらも、楽しく活動することができました。



## フーメラン作り



型紙を元にフーメラン工作に挑戦しました。それぞれが思い思いの作品を作り、今回のキャンプの思い出の品とともに、できあがったフーメランを集会室で試し投げ。なかなか手元には戻ってきませんでしたが、中には何となく戻ってくる子どももあり歓声が上がっていました。

最後におわりのつどいをし午後3時頃、全ての企画が終了となり解散となりました。班のメンバーとのお別れを名残惜しむ姿や保護者の方に思い出をうれしそうに話している姿が印象に残りました。



酷暑の中でしたが、熱中症や事故等なく盛況のうちに終えられましたことを、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

また、先立つこと1週間前。スタッフ事前研修会で、リバーボートの実証活動やルートの事前踏破。野外炊事の流れなどを検証して今回を迎えました。活動支援スタッフの地道な活動があってこそ今回の事業が成立しています。改めて支援スタッフの皆さんにお礼を申し上げます。「ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。」